

令和4年4月27日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 令和4年4月27日（水）午後2時から午後3時10分
開催場所 美祢市役所3階「委員会室」

出席委員

中本 喜弘	教育長
金子 明美	教育長職務代理者
刀禰 信子	委員
山田 裕治	委員
山本 亜由美	委員

5人

出席教育委員会事務局職員

八木下理香子	教育次長
西山 宏史	事務局長兼教育総務課長
渡辺 義征	〃 学校教育課長
千々松雅幸	〃 生涯学習スポーツ推進課長
神田 高宏	〃 文化財保護課長兼世界ジオパーク推進課長
藤本 儀昭	〃 学校教育課主幹
倉増 裕	〃 教育総務課総務班長

7人

（午後2時）

開 会

教育次長 八木下 理香子

それでは只今より令和4年4月の定例教育委員会会議を開催いたします。
これからの進行は教育長よろしくお願いします。

教育長挨拶

教育長 中本 喜弘

皆さん改めましてこんにちは。

4月は教育委員の皆様にもあちこち御出席をお願いしてですね大変お忙しい思いさせまして、本当にありがとうございました。

いろいろ新年度に入りまして新しいことのスタートということで、更に、事務局サイドのほうもしっかりと、進めてまいりたいというふうに考えております。

桜が終わって今、私の家の周りもツツジや、シャクナゲ、藤の花も少し咲いてるようですけれども、また、来月にはスーパークールビズで、ノーネクタイでやらせていただきますけれどもどうぞよろしく願いをいたします。

それでは御手元に送付させていただきました次第に基づいて進めさせていただきますので、どうぞよろしく願いをいたします。

署名委員の指名

教育長 中本 喜弘

それではまず、署名委員でございます。

山本委員、それから山田委員をお願いをいたします。

よろしく願いいたします。

<両名了承>

前回会議録の承認

続いて、前回の会議録の承認でございます。

金子代理と刀禰委員よろしいでしょうか。

<両名承認>

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

冒頭報告

教育長 中本 喜弘

それでは続いて私の報告でございます。

教育委員の皆様にも御出席をいただいております部分もありますが、新たに今年度から、小中一貫教育、全中学校区でスタートさせていただいておりますので、まずは美東小中学校学運協、それから大嶺小中学校学運協、そして今日、秋芳小中学校学運協に出席をさせていただいて、6中学校区全てに出席をする予定としております。

4月8日、美祢魅力発掘隊任命式、これは先ほど御挨拶をさせていただいた、大越君の任命式が行われたところでございます。

11日の月曜日、厚狭地区の教育長協議会では年度替わりでメンバーがかわって県教委との顔合わせを行って4年度の県の方針についての説明を受けた

ところでございます。

4月12日は小中学校校長会、着任式に続いて、美祢市の方針について、それぞれ所管ごとの御報告もあわせて行ったところでございます。

14日、入山アキ子さん、コンサートの収益金の一部を御寄附いただきまして、教育委員会のほうにも5万円の寄附をいただいたところでございます。

こちらのほうについては、教育行政に資する形で使わせていただきたいというふうに思っております。

それから18日、皆様にも御出席をいただきまして特に、金子代理には早朝から御出席をいただきました。

県市町教育長・教育委員会議、大変お疲れでございました。

国の方針、県の方針そして、美祢市の方針に従ってですね、教育行政を進めてまいりたいというふうに思っております。

それから、一つ、教育委員会との関わりがありますけれども24日、赤郷地区の一般社団法人ドリームレッド、法人格を持った地域住民の会が立ち上がりまして、これは今までスクールバスの運行、それからオンデマンドの地域交通を担っていただいたところが、これからプラスアルファ、特産品の開発、それから地域自治についてですねしっかりと法人格を持って進めていくということで、市内の各地区の中ではオピニオンリーダーとしてこれから我々が進むべき道を示してくださるものと大変、期待をいたしておるところでございます。

それから、25日の月曜日、山口新聞に翌日には載っておりましたけれども、慶應義塾大学との覚書からステップアップして、美祢市と慶應義塾大学SFC研究所との連携協力に関する協定締結を行ったところでございます。

最初に来てくれていました三橋舞衣さんが、4月いっぱい約6か月の期間を経て報告もしていただきました。

若い優秀な目線で、美祢市のことについてもしっかりと良さや課題についてもですね、我々に知らしめてくれました。

中村智美さんが5月末まで、第2弾として市内で活動を行ってくださるということでございまして、こちらのほうにも期待を寄せているところでございます。

本日は定例教育委員会会議、その後、先ほども話しましたように秋芳小中学校学運協に参加をさせていただく予定としております。

私からの報告は以上でございます。そのほか、委員の皆様方から何かありましたらお願いをいたします。

特段ないようですのでまたお気づきのときに御発言いただければと思います。

議題及び議事

教育長 中本 喜弘

続いて、本日提出しております議案についての御審議をお願いをいたします。
直前になりまして報告2件追加しておりますけれども、どうぞよろしくお願いをいたします。

次第に沿って進めさせていただきます。

まず報告第1号、美祢市公民館運営協議会委員の委嘱についての説明をお願いします。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

それでは報告第1号、美祢市公民館運営審議会委員の委嘱について御説明申し上げます。

議案書の1ページ、資料の1ページになります。

4月1日の人事異動に伴う小学校中学校の校長、各種団体から選出された、美祢市公民館運営審議会委員の委嘱については、美祢市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により、令和4年4月1日付で教育長が臨時代理したので、同条第2項の規定により報告するものであります。

任期は令和6年3月31日まで、今回の対象施設数は大嶺、伊佐、豊田前、於福、厚保、大田、綾木、真長田、別府、秋吉の各公民館であります。

説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

はい、報告第1号、臨時の代理をさせていただきました件でございます。

何か御質問等あれば承りたいと思います。

特段ないようですので報告第1号について御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

教育長 中本 喜弘

続いて、報告第2号、美祢市長登銅山文化交流館運営協議会委員の委嘱及び解嘱についての報告をお願いをいたします。

はい。お願いします。

文化財保護課長 神田 高宏

報告第2号、美祢市長登銅山文化交流館運営協議会委員の委嘱及び解嘱について、御説明させていただきます。

議案は3ページ、資料は2ページから3ページとなっております。

長登銅山文化交流館運営協議会は、長登銅山文化交流館の適正な運営を図ることを目的とした機関であります。この度、学校教職員の人事異動に伴い1名を、令和4年3月31日付で解嘱するとともに、令和4年4月1日付で委嘱することについて、教育長が臨時代理したので、教育委員会に報告するものであります。

なお、委員の任期は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までとなっております。

説明は以上でございます。

教育長 中本 喜弘

はい。以上で報告第2号について説明が終わりました。

御質問等あれば承りたいと思います。

特段ないようですので質問は終わらせていただきます。

報告第2号について御承認いただけますでしょうか。

ありがとうございます。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

続いて追加の報告でございます。

報告第3号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱についての説明をお願いします。

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい、続きまして、報告第3号美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱について説明をいたします。

本日お配りさせていただきました、追加の議案資料の1ページ、それから追加の資料の1ページから2ページになります。

現在実施中の健康診断のうち、4月26日に実施をしました秋吉小、秋芳桂花小、秋芳中の耳鼻科健康診断に際し、美祢市学校医（耳鼻科医）の派遣を依頼している山口大学医学部耳鼻咽喉科学教室から4月21日に医師変更の連絡があったことに伴い、臨時代理により委嘱したことから報告するものであります。

なお、学校医の任期は、令和5年3月31日までとなります。

説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

はい、報告第3号について説明が終わりました。

御質問があれば承りたいと思います。

特にないようですので、報告第3号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱について、御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

報告最後でございます。第4号、美祢市社会教育委員の解嘱について説明をお願いします。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

報告第4号、美祢市社会教育委員の解嘱について御説明申し上げます。

追加資料、議案2ページ、追加資料の3ページになります。

この度、学校教職員の異動及び美祢市スポーツ推進委員協議会から選出された委員の任期満了に伴い、2名の委員を令和4年3月31日付で解嘱することについて、美祢市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により、同日、臨時代理しましたので、同条第2項の規定により報告するものであります。説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

報告第4号につきましての説明が終わりました。

質問を承りたいと思いますが、いかがでございましょうか。

特にないようですので、報告第4号について御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

それでは、議案第32号美祢市立各小中学校の学校運営協議会委員の任命についての説明をお願いいたします。

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい、議案第32号美祢市立各小中学校の学校運営協議会委員の任命について御説明をいたします。

お配りさせていただいております議案書の4ページから5ページ、資料の4ページをお開きください。

小中学校の各学校運営協議会のうち、委員の任期満了のあった協議会については美祢市学校運営協議会規則第4条第1項により、各中学校長から推薦のあった委員を任命しております。

それにつきまして新たに人事異動等に伴いまして、委員を任命するものについて教育委員会の承認を求めるものであります。

なお、委員の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までとするものであります。

説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

はい、議案第32号についての説明が終わりました。

御質問があれば承りたいと思います。

御質問特にないようですので、議案第32号美祢市立各小中学校の学校運営協議会委員の任命について御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

それでは続いて議案第33号、美祢市教育支援委員会委員の委嘱についての説明をお願いします。

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第33号、美祢市教育支援委員会委員の委嘱について説明をいたします。

美祢市教育支援委員会は、美祢市立小中学校に就学しようとする者及び在学する児童生徒のうち、心身に障害があると思われる者の適切な教育的措置について協議し適正な就学指導をすることを目的として設置をしている委員会でございます。

この度、任期満了に伴い委員 8 名を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めます。

なお、委員の任期は令和 4 年 5 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までとなります。

説明は以上です。

教育長 中本 喜弘

はい、議案第 33 号の説明が終わりました御質問があればいただきたいと思

います。

はい、金子職務代理。

職務代理者 金子 明美

平成 31 年度の頃には、この美祢市教育支援委員会規則の第 3 条の第 2 項の (4) に 1 という欄があるんですが、お医者さんがこの中に入っておられたんですけども、調べてみたら令和 3 年度も入っておられない状況でした。

医師を除かれた何かあれば教えていただきたいなと思いますが。

教育長 中本 喜弘

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

金子職務代理の御質問にお答えさせていただけたらと思います。

教育支援委員会の委員の委嘱につきましては、3 月の定例会のほうで人事異動を伴わないお医者様等の委員の委嘱をさせていただいているところです。

今回、人事異動に伴いまして教職員、それから新たな地域コーディネーターと、そういった者の任命等もございましたのでそういう方々の追加の委嘱ということになります。

職務代理者 金子 明美

分かりました。ありがとうございました。

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

そのほか御質問ありますでしょうか。

特にないようですので質問は終わらせていただきます。

議案第 33 号、美祢市教育支援委員会委員の委嘱について御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございました。

続いて、議案第34号美祢市夢をつなぐ特別支援教育サポートチーム委員の委嘱についての説明をお願いします。

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第34号、美祢市夢をつなぐ特別支援教育サポートチーム委員の委嘱について説明をいたします。

議案書の7ページ、資料の6ページをお開きください。

本サポートチームは、一人一人の教育的ニーズに応じた支援や学びのつながりを大切にする教育を推進するために、教育、福祉、医療、心理学等の専門的立場から未就学児童、児童生徒、保護者、教職員等への適切な指導や助言をし、美祢市教育支援委員会へつなぐ等の就学に向けた適切な支援を行うことを目的として設置をしている組織でございます。

この度、委員の任期満了に伴いまして委員12名を委嘱したいので教育委員会の承認を求めるものであります。

なお、委員の任期は、令和4年5月1日から令和5年3月31日までとなります。

説明は以上です。

教育長 中本 喜弘

はい、議案第34号についての説明が終わりました。

御質問を承りたいと思います。

はい、金子職務代理。

職務代理者 金子 明美

先ほどの議案第33号の、美祢市教育支援委員会と、この美祢市夢をつなぐ特別支援教育サポートチームの関連、どのような関連かっていうことを教えていただけたらと思います。

教育長 中本 喜弘

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい。金子職務代理の質問にお答えをいたします。

教育支援委員会のほうにつきましては、最終的に適切な就学がどうであるかといったところを協議して保護者の方にお知らせをする、そういうようなところを、職務としております。

それに対しまして、こちらの夢をつなぐ特別支援教育サポートチームのほうに関しましては、日頃の子供たちの支援、適切な支援はどういう支援がいいのか、また当然それに伴いまして適切な就学がどうなのかというところも助言等もしてまいりますけれども、どちらかという日頃の困り事に対してどうしたらいいのかという、助言をするところが大きな職務になるというふうに捉えていただければと思います。

説明は以上です。

教育長 中本 喜弘

よろしゅうございますか。

職務代理者 金子 明美

ありがとうございました。

教育長 中本 喜弘

はい、そのほかございますでしょうか。

特にないようですので質問の時間を終わりたいと思います。

議案第34号、美祢市夢をつなぐ特別支援教育サポートチーム委員の委嘱について、御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

続いて議案第35号、美祢市立図書館あり方検討委員会の委員の委嘱について説明をお願いします。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

議案第35号、美祢市立図書館あり方検討委員会委員の委嘱について御説明

申し上げます。

議案書 8 ページ、9 ページ、資料は 7 ページになります。

美祢市立図書館あり方検討委員会は、美祢市図書館あり方検討委員会設置要綱にあるとおり、美祢市立図書館の整備に関し、あり方及び方向性を検討する委員会であります。

本委員会は平成 29 年度から令和 3 年度までに通算 11 回開催しており、これまでの検討内容は昨年 11 月に美祢市立図書館基本構想として取りまとめております。

12 月からは、美祢市立図書館基本計画の策定に向けて協議を進めつつあります。

本委員会の委員は 15 名で組織されておりますが、委員全員の任期が令和 4 年 3 月 31 日で満了となったため、新たに 15 名の委員を委嘱するものであります。

説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

議案第 35 号についての説明が終わりました。

何か御質問があれば承りたいと思います。

特にないようですので、議案第 35 号美祢市立図書館あり方検討委員会委員の委嘱について御承認をいただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

金子職務代理引き続きよろしく願いをいたします。

続きまして、議案第 36 号、美祢市人権教育推進委員の委嘱についての説明をお願いします。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

議案第 36 号、美祢市人権教育推進委員の委嘱について御説明申し上げます。

議案書 10 ページ、資料は 8 ページになります。

美祢市人権教育推進委員会は、全ての市民の基本的な人権が尊重される心豊かな美祢市を実現するために設置しており、美祢市の人権教育の推進、啓発について協議や情報共有を行っております。

この度、選出母体からの異動等により、委員定数26名のうち、13名を改正する必要があるため各団体企業等の代表として改めて13名の委員を委嘱したいので、教育委員会の承認を求めるものであります。

なお委員の任期は令和4年5月1日から令和6年3月31日までとするものであります。

説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

はい、議案第36号についての説明が終わりました。

御質問があればいただきたいと思います。

はい、刀禰委員。

委員 刀禰 信子

企業が美祢地区、美東地区、秋芳地区というふうに各1人ずつ入っておられますが、企業についてどのような企業が入っておられるか教えていただけたらと思います。

教育長 中本 喜弘

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

ちょっとうろ覚えですので確認をして、後ほど回答させていただきます。

教育長 中本 喜弘

正確な情報提供を後ほどさせていただきます。

すみません。

そのほか御質問ありますでしょうか。

特にないようですので議案第36号、美祢市人権教育推進委員の委嘱について御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

最後の議案でございます。

議案第37号、美祢市スポーツ推進委員の委嘱についての説明をお願いしま

す。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

議案第37号美祢市スポーツ推進委員の委嘱について御説明申し上げます。
議案書は11ページ、資料は9ページになります。

スポーツ推進委員は美祢市教育委員会の行う、体育事業や各種団体が行う体育活動に協力し指導を行っており、令和4年4月1日現在35名の委員に委嘱をしております。

今回は、1名欠員となっていた綾木地区から推薦があったこと、また、市内スポーツイベント等で活躍されている方々へ個別に依頼したところ、1名の方の承諾が得られたことにより、新たに2名の委員を委嘱するものであります。

なお、委嘱期間は令和4年5月1日から令和6年3月31日までとするものであります。

説明は以上となります。

教育長 中本 喜弘

議案第37号についての説明が終わりました。

御質問があれば承りたいと思います。

特にないようですので質問を終わりたいと思います。

議案第37号、美祢市スポーツ推進委員の委嘱について御承認いただけますでしょうか。

<全員承認>

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

報告4件、議案6件の慎重審議、誠にありがとうございました。

以上で議案についての審議は終わらせていただきたいと思います。

続いて、所管ごとの報告をいたさせます。

次長のほうからはありませんか。

はい、それでは教育総務課。

西山事務局長。

教育総務課長 西山 宏史

はい、教育総務課でございます。

1点目、刀禰教育委員さん、この度の御任期でですね、御退任されるという御意向を伺っております。

それに伴いまして、5月17日に開催される臨時の市議会においてですね、新たな教育委員の任命の議案が提出されるという運びになっております。

ちなみに、新教育委員さんは名前申し上げてよろしいですか。

はい、今議案に盛り込まれておる、新教育委員さんは松本孝志先生という予定になっております。

昭和31年3月生まれの方でございます。

任期がですね5月22日からということございまして、先ほどちょっとお願い申し上げました、刀禰教育委員さんにおかれましてはですね、御任期が、5月21日までとなります。

ちょっと最後で御挨拶をいただくようお願い申し上げます。

それと、2番目でございます。

こちらに書いておりますように、定例の教育委員会議の日程を、基本的にはですね、毎月25日とさせていただけないでしょうかということでは各委員に電話でちょっとお尋ねしております。

各委員等もですね、オーケーですよと了解いたしましたという御返事を、いただいております、基本的には毎月25日をですね、定例の開催日にさせていただけるのかなと思っております。

ただ今日こちらに書いておりますようにですね、25日が土曜日あるいは日曜日、あるいは祝日である場合は25日開催というのが出来ませんので、直近のですね、週明けのウィークデーにですね開催日を設定させていただくということで、今参考までにですね、今年度の予定日を記載させてもらっております。

ちょっとどうしてもこの日はですね都合がつかないんだっていう場合はですね、今書いておる、予定では困るということですね、あらかじめ教えていただけたらと思います。

それと3点目でございます。ちょっと次長に代わります。

教育次長 八木下 理香子

3点目の慶應義塾大学SFC研究所との連携協定締結について私のほうから説明をさせていただきます。

月曜日、連携協定の締結式そして活動報告会、教育委員の皆様もお忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。

全部で総勢約50人の方に御参加をいただきました。

今回この協定の締結式と一緒に活動報告会をやったことですね三橋さんのこれまでの約半年間の活動を多くの方に知っていただくいい機会になったのではないかなというふうに考えております。

今後、教育・人材育成分野での連携に加えまして、地域づくりの分野についてもSFCの力を借りて市全体で取組を進めていきたいというふうに考えております。

先ほど教育長からも冒頭ありましたが、今活動している学生の中村さんの報告会のほうもですね5月の末から6月の頭にまた開催したいというふうに考えておりますので、またぜひ御出席いただければと思います。

以上です。

教育長 中本 喜弘

はい、教育総務課の報告が終わりました。

何かお気づきの点があれば承りたいと思います。

いかがでしょうか。またお気づきになりましたら。

はい。先ほど刀禰委員から御質問がありました件、詳細がわかったようですので報告いたさせます。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

議案第36号、美祢市人権教育推進委員の委嘱について、刀禰委員さんから御質問いただいた件についてお答えしたいと思います。

まず美祢地域の企業でありますけども宇部興産さんになります。

今現在社名変わりました、UBE三菱セメント株式会社さんになります。

美東地域につきましては、これまでは利高工業さんでありましたが美東電子さん。

そして秋芳地域につきましては秋芳工業さんであります。

以上になります。

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

続いて、学校教育課から報告いたさせます。

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい、学校教育課からは大きく2点報告をさせていただきます。

まず1点目については、学校の様子についてでございます。

冒頭教育長からの報告にもございましたように、令和4年度スタートして全ての中学校区で小中一貫教育が始まったところでございます。

今のところ全ての学校で順調に動いているというふうに聞いております。

子供たちのほうも、新たな気持ちで先生方も新しいことを頑張ろうというような思いを持って取り組んでいるところではございます。

中学校においては、すぐに春季県体予選等もございました。

これも順調に終わっております。

それから全国学力・学習状況調査等も無事終わったところでございます。

心配をしておりました、於福小中学校、特に中学校のお子さんについても全という日にちは出校はしていませんけれども、2日に一回、3日に一回程度はですね学校に来ております。

日にちによっては自分で自転車で登校したという日もあるというふうに聞いております。

本人も頑張らなければってというような気持ちも持っておるようですし、リアルな小中一貫教育が今動いておりますが、昼休みには小学生の子供たちと一緒に遊んだりというようなこともやってくれておりますので、何とか1年間いい方向に向かっていってくればなと思っていますところでございます。

これに関連をしまして、学校訪問等のことについて少しつけ加えて説明をさせていただきます。

本日配付をさせていただいた資料の中に、令和4年度美祢市教育委員会学校訪問予定表というものが入っているかと思っております。

本年度の学校訪問は、新たに美祢市に着任をされた校長先生方の学校訪問にさせていただくということで、今、このような日程を組んでおります。

コロナ禍、やはりまだ学校のほうでも陽性者、それから濃厚接触者が出ているというようなこともございますので、昨年までと同様に人数を限定をしての訪問をさせていただければと思っていますところではございます。

先日、教育委員の皆様の方から学校訪問に行く回数が減っているの、何がしか学校の様子を見ることが出来ないかというところもお話を伺っているところでございます。

本日配付資料の中に、1枚物でちょっとタイトルがないのですが、A4縦版で左上に、美祢市管理職訪問という小さなタイトルが入った一覧表があるかと思っております。

県の教育委員会のほうが管理職の訪問をずっとしております。

今ここに書いてある日にちと時間にですね、県教委のほうで学校訪問をしますし、市の教育委員会のほうも随行しておりますので、このときに学校も、もしよかったら学校と一緒にいって子供たちの様子をですね、見ていただけたらなと思っています。

県教委のほうにも話をして学校に教育委員さんが行く機会が少ないので是非一緒に行かせてもらえないかということをおっしゃっておりますので、この日にちを見ていただいて、この日この学校に入りたいということがございました

ら、また電話等で藤本のほうにですね御連絡をいただければ、一緒に学校の様子を見ていただくようにしたいと思っております。

この時に、授業参観、全校の様子を見た後、管理職と若干、面談を行います。

こちらのほうも、もしよければ一緒に聞いていただいてもいいですし、いやもう授業だけでいいっていうことであればこちらでも構いませんので、こちらの希望もあわせて申出いただければ、一緒に学校の訪問に参加できればと思いますので、よろしく願いいたします。

併せて、運動会なんですけれども、5月第3週の末、それから第4週の週末に小学校の運動会がかなりの数行われますが、今年についても各学校ともコロナ対応をしながらという開催ですので、教育委員会からの訪問は、見合わせるという形で進めております。

大変残念ではございますが御了承いただけたらと思います。

続いて2点目の報告ですが、少し画面等を見ていただきながら、お話をさせていただければと思います。

事前配付資料にプレゼンの資料もありますので、もしよかったらこちらも見ながら画面を見ながらどちらでも構いませんのでお聞きいただけたらと思います。

内容につきましては、部活動改革についてでございます。

山本委員さんと山田委員さん、ちょっと後ろを振り向いていただくような形で大変、御不便をおかけするんですけれども、モニターのほうにも映したらというふうに思っております。

これまで、本市の部活動のあり方を検討していきますということを皆様方にも御報告をさせていただいていたと思いますが、本年度、国の委託事業を受けて美東中学校において休日の部活動の地域移行について実践研究を始めてまいります。

先日、4月6日に美東中学校の学校運営協議会でその取組を説明させていただきました。

また5月7日には、PTA総会で保護者の方にも説明をしていきたいと思っております。

その時に説明をした内容を、そのままではございますが本日、教育委員の皆様にも聞いていただいて御報告をさせていただければと思います。

今年の3月、日本中学校体育連盟、中体連と申しますがこちらのほうが来年度、令和5年度から、民間のクラブや団体が大会に出場できるようにするそういった方針を決めたとの報道がなされました。

具体的な出場要件などは、6月までに提示をされるということなんですけれども、県や市によっては今年、令和4年度の秋の新人大会から部活動以外のチームが参加する可能性があるとも述べられています。

中体連の大会が大きく変わっていくように、全国で部活動改革が進められており、美祿市においてもその取組を進めていきたいと考えております。

それでは、今なぜ部活動改革が必要なのでしょうか。

一つは、少子化の進行です。

これは山口県全体の生徒数、中学校1校当たりの平均生徒数を示したものです。

生徒数の急激な減少により3校に1校以上が100人未満の学校となっています。

そのような、3校に1校が100人未満の学校になっておりますと、学校単位で団体競技を維持していくというのが非常に難しい状況になっています。

これは人数100人前後の学校や、27人前後の学年で、部活動数が幾つかあるのかってということなんですが、かなり限定された種目しか出来ないっていうのが現状です。

本市においてもこの状況は非常に加速した状況になっています。

また、子供たちの中には、競技性を追求したいと望む子もいれば、楽しくスポーツをしたい、又は、複数の競技、いろんな活動をしたいと望むような子供がいるなど、子供たちのニーズが多様化しております。

学校の部活動ではそういった子供たちの興味関心に応じてスポーツや文化に親しめる機会を確保することは非常に困難な状況です。

もう一つの要因は教職員の働き方改革の側面です。

教員の勤務時間は学校によって決まっておりますが、大体8時から16時30分ぐらいとなっております。

そのため、部活動の指導は勤務時間外の業務で、中学校教員の長時間労働の主な理由の一つになっています。

これらの要因から、スポーツ庁は運動部活動の地域移行に関する検討会議を立ち上げ、議論の結果を今年の5月に提言するとしています。

まだ、明確な日には出ておりませんが間もなく示されると思っております。

また、文部科学省は、昨年度から部活動改革として休日の部活動の段階的な地域移行などの実践研究を開始しました。

そして、研究の結果をもとに、令和5年度から部活動改革を全国展開するというスケジュールを示しており、今年度はこの取組をさらに加速していくとしており、冒頭の中体連の参加要件変更の動きもこの改革の中の一つでございます。

そして、文化庁においても文化庁が同様の取組を進めて、これらを受けて山口県でも昨年度から国の事業を活用し、休日の部活動の段階的な地域移行について県内二つの中学校で実践研究を始めており、本年度も継続して研究します。

この動きに合わせた本市の取組を少し説明してまいります。

これは、今の中学校2、3年生の各部活動の所属人数を示しています。

これにプラスアルファ、今の新1年生が入っておりますが、年度末の状況はこのような人数でした。

それぞれの学校の部活動の人数を見ますと、非常に少ない状況なんで1年生が入部するまでの間、又は今度3年生が抜けた後の時には、団体で試合に出場するためには複数の学校で合同のチームを編成しないと、なかなか競技が難しいような状況です。

それぞれの競技の人数を考えたときに、この枠で囲むようなグループをつくっていかないとなかなか競技が成立しにくいような状況が見られています。

つまり美祢市においては、今後、現行の部活動を維持することは不可能な状態になっています。

そのため国や県の取組を参考に今年度から、本市においても部活動改革に取り組めます。

今年度は美東中学校において実践研究を始めます。

併せて各学校の学校運営協議会において、部活動のあり方について検討していただき御意見もいただいております。

さらに、体育協会や各種競技連盟、スポーツ少年団、文化関係の団体、教員で組織する部活動改革推進協議会を立ち上げ、今後の市内中学生の望ましいスポーツ活動や文化活動について協議していきます。

令和5年度は、休日の部活動の地域移行に取り組む学校を増やすとともに、平日の部活動については、可能な種目等から地域のスポーツ活動や文化活動へ移行していきます。

そしてこれらの取組を段階的に進めていくことによって、令和7年度からは市内の全ての中学校の部活動を地域のスポーツ活動や文化活動に移行していきたいと考えています。

今年度の取組をもう少し詳しく説明します。

研究校である美東中学校においては、休日の部活動の地域への移行について、PTA総会で保護者に説明していきます。

全部活動に、地域の指導者を配置します。

1学期は、教員と一緒に指導する形をとって、3年生が引退した新チームの活動から、休日は地域の指導者だけの指導を開始したいと思っています。

そのため、休日の活動は、地域での活動という位置づけとなります。

部活動ではなく地域での活動、そういう位置づけと考えています。

本年度の実践研究については、保険や指導者の謝金について、これらは国の事業を活用するなどして教育委員会が負担をしますが、将来的には、受益者負担の考えから、保護者に負担していただくように変わっていきます。

また、美祢市全体の部活動のあり方を協議する部活動改革推進協議会を6月

と1月に開催する予定としています。

今のお話を、イメージ化したものがこちらの図になりますけれども、いろいろな団体に協力をいただきながら、子供たちにとってよりよい活動ができる体制を整えていきたいと思っています。

また、これらの取組を進める上で考えられる懸案事項がこちらになります。

現段階では不透明なこともたくさんあり、解決していかなければならない課題がたくさんあります。

多くの皆様のお知恵を借りながら、一つずつ解決していきたいと考えています。美祢市内の中学生が、各自の興味関心や子供たちの多様なニーズ、そういったものに応じた活動をすることによって、自己実現が図られますよう御協力をいただけたらと思っております。

こういった形で保護者、それから学運協にも説明をしてまいりましたし今、水面下で指導者も探しているところがございます。

かなり目途も立ってきております。

そういった形で部活動の改革を進めて、もし山口県の中体連の出場要件が変わって地域の受け皿が出来ましたら、秋に新チームの県大会が行われますが、その大会から可能なものがありましたら、地域活動という形で出場するという事も考えられるのかなとは思っています。

いろいろな方から御意見をいただいております、春まではこの学校とこの学校でチームを組んでるのが、4月から今度、違う中学校と違う中学校がチームを組まなくてはいけなくなったと。

ころころ変えられちゃ困る、どうにかしてくれというような連絡も先日いただいたりしています。

そういった方々とも話をしていると、地域もやっぱりいろんな次の動きを出さなければというふうに感じてらっしゃるところもありますので、状況によっては加速的にそういった取組が進むかもしれないなとは思っております。

また状況をそれぞれ報告をさせていただきますので、御意見ございましたらお寄せいただけたらと思っておりますし、御協力いただけたらと思っております。

説明は以上になります。

教育長 中本 喜弘

はい、学校教育課からの報告が終わりました。

御意見、御質問等あれば承りたいと思っておりますがいかがでしょうか。

刀禰委員。

委員 刀禰 信子

さっき説明をしていただいた中で、令和7年度から、これは休日じゃなくても平日も全部、地域の人に任せるとのことなんですか。

教育長 中本 喜弘

渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい、できれば、令和7年度からは全て平日も休日も含めて、地域の活動というふうな思いではあります。

以上です。

教育長 中本 喜弘

よろしいですか。

当然、部活動に関わりたい先生方には兼業をしていただく形ですね参画していただくということも可能になってくると思いますし、1番はやっぱり子供の多様性を、受け皿をつくっていくということで、本当に選手目指して頑張るぞという子供たちも活動ができるし、先ほどありましたようにいろんなスポーツをやってみたいという子供たち、それからレクリエーションとして学年を超えたスポーツでのつながり、これはもう地域部活動に移行すれば、多世代の交流、スポーツを通じての交流ともなっていくしますので、いろんな課題もまだまだたくさんありますけれども、少しずつでも子供たちの思いがかなえられるような体制づくりを進めていきたいというふうに考えております。

他にございますでしょうか。

またお考えが浮かびましたらお願いをいたします。

続いて、生涯学習スポーツ推進課、八木下次長。

教育次長 八木下 理香子

mineto子どもキャンプのスタッフトレーニングについて説明をさせていただきます。

夏に実施を予定している、mineto子どもキャンプですけれどもこちらのスタッフトレーニングを4月の23日の土曜日に実施をいたしました。

キャンプの中で4日間子供たちのそばで活動を見守るグループカウンセラーとして活動するスタッフを市内の小中学校の教員、そして公設塾minetoのスタッフから募集をいたしましたところ、市内小学校の今2年目から5年目の若手の先生方3人、そして公設塾minetoのスタッフ2人、そして、生涯学習スポーツ推進課の社会教育主事の全部で6人のスタッフが集まってくれました。

23日の土曜日には、顔合わせと、あと、子供たちの自主性を伸ばすような

コミュニケーションスキルを学びました。

若くてやる気のあるすごく良いスタッフが集まってくれて本番に向けてとてもいいイメージが出来たところです。

次回6月に、1泊2日の実地の事前トレーニングをもう一度やって、本番の7月のキャンプに臨みたいというふうに考えております。

以上です。

教育長 中本 喜弘

参加の子供の募集について、もうちょっとざっくりとスケジュール感を。

教育次長 八木下 理香子

はい。ゴールデンウィーク明けぐらいに、子供たちに対して、募集のチラシを配布出来たらなというふうに考えてます。

そして、6月の1日から2、3週間申込みの期間にして、その間に保護者説明会も実施をして、保護者の方にも御理解いただいた上で申し込んでいただけるような形をとりたいというふうに考えております。

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

mineto子どもキャンプについて生涯学習スポーツ推進課から報告をいただきました。

何か御意見等あれば承りたいと思います。

はい、山本委員。

委員 山本 亜由美

キャンプについてなんですけど、この対象学年を教えてください。

教育次長 八木下 理香子

市内の小学校3年生から6年生を対象に、30名募集をしたいというふうに考えています。

教育長 中本 喜弘

よろしいですか。

委員 山本 亜由美

はい、ありがとうございます。

教育長 中本 喜弘

その他ございますでしょうか。

千々松課長。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

私のほうから1点ちょっと御報告をさせていただきます。

前回の教育委員会会議以降であります公民館連携事業についてであります。

これは市制10周年記念事業としてスタートしたものでありまして秋芳地域、美東地域そして、令和3年度美祢地域の番でありました。

これ、3月26日の日に予定をしておりました上曾原のチャート、それから、厚保の神功皇后神社、豊田前の社会復帰センター、ぼんぼこの里、それから桃ノ木露天掘り、於福の石灰窯、こういったところを回るツアーでありました。

定員30人を早くに定員に達することも出来ましたが、当日、残念ながら荒天でありまして特に風も強くございました。

外の行事でもありましたので、大変残念ではありましたが中止とさせていただいたところではあります。

一応この事業につきましてはこれを持ちまして終了ということになります。

以上であります。

教育長 中本 喜弘

何か、あれ、景品か何か出たような。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

スタンプラリーを実施しておりまして、申し込まれた方は一応参加した体で、全部コンプリートされた方、3段階ありまして、それぞれに美祢の特産品を発送させていただいております。

抽せんをしております。

教育長 中本 喜弘

はい、ありがとうございます。

追加で報告をしてもらいました。

続いて文化財保護課の報告をいたさせます。

はい、神田課長。

文化財保護課長 神田 高宏

はい、文化財保護課からはゴールデンウィーク中の秋吉台科学博物館、歴史民俗資料館、化石館の開館日について御報告いたします。

まず、秋吉台科学博物館ですが、博物館は月曜日が休館日となっておりますが、ゴールデンウィーク中、5月2日の月曜日につきましては開館いたします。

ということで、連休中は全て開館ということになります。

続きまして、歴史民俗資料館、化石館につきましては、通常は、祝日が休館日となっております。

しかしながら連休中ですが4月29日、金曜日の祝日、5月3日から5月5日の祝日につきましては開館いたします。

ということで連休中につきましては、5月2日の月曜日のみ、この2館については閉館ということになります。

以上でございます。

教育長 中本 喜弘

はい。続いて、世界ジオパーク推進課神田課長、続けてお願いします。

世界ジオパーク推進課長 神田 高宏

はい、世界ジオパーク推進課ですが、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会の総会を5月25日の水曜日、午前10時から市民会館大会議室で行う予定となっております。

世界ジオパーク推進課からは以上でございます。

教育長 中本 喜弘

はい、文化財保護課、世界ジオパーク推進課ともに、神田課長の所管でございましたので続けて報告をいたさせました何か御意見等あれば承りたいと思います。

続いて、教育委員からの提案及び意見、全体で構いません。

御意見等があれば承りたいと思いますがいかがでしょうか。

はい、金子職務代理。

職務代理者 金子 明美

先ほど、行事関係のところで紹介があったかと思うんですけども、先日の慶應義塾大学との連携協力、それから締結式、そして活動報告会、参加させていただいてとても中身の濃い、すばらしい会議だったなあというふうに思いました。

今、minetoを核として今、教育委員会が力を入れて取り組んでおられること、それをやはり広く、美祢市の方にですね是非知っていただきたいなあというふうなことを、minetoのメンバーも含めてですね、とてもこうやる気持ちが前面に出た紹介だったと思いますし、そういう人たちが今美祢市にこられて、子供

たちのために、力を支えてくださってるんだっていうことを是非ですね、もっともっと多くの人に知ってほしいなということを感じました。

それで、先日、報告会もあったというふうには聞いておりますが、なかなかそこまで足を運べない方もいらっしゃるかと思うんですけども、MYTとかです。また、他にいろんな方法があるかなとは思うんですけども、情報発信をしっかりしていただけたら、ありがたいなというふうなことを思いました。

感想です。

教育長 中本 喜弘

ありがとうございます。

引き続き、あらゆる機会をとらえて、皆様方に周知をしていくようにしっかりとまたやっていきたいと思っておりますありがとうございます。

山本委員。

委員 山本 亜由美

2点ほど教えていただきたいことがあります。

令和3年、今年から全部の地域で小中一貫が始まったんですけど、昨年度、美東地区がモデル校になってると思うんですけど、その小中一貫校になって、成果っていうか変わったこととかがあれば教えてもらいたいのと、あともう1点は出張minetoが今年から始まるっていうふうに、話を聞いたんですけど、3つのトビラの中で中学生の子供が興味あるのって結構、知のトビラ、勉強の仕方がわからないから学校の先生じゃなくって、もうちょっと身近な人に教えてもらいたいとかそういう話をよく聞くんですよね。

出張minetoでなんか挑戦のトビラをされるっていうふうに聞いたんですけど、折角今いい人たちが来ているので勉強の仕方とか、こういうふうにしたら暗記がすごくできるよとか、そういうのももうちょっと広めていってもらえたらうれしいなと思ってます。

以上です。

教育長 中本 喜弘

はい、渡辺課長。

学校教育課長 渡辺 義征

はい、まず1点目の小中一貫教育の成果というところでございます。

美東地域で小中一貫をやって一番の成果は、やはり3小学校の子供たちが一緒に活動できることによって切磋琢磨できる環境が出来た。

去年は途中から週1回、2時間の活動が主なものだったんですけども、ここでの交流というのがやっぱり子供たちにはすごく良い影響が出ている、子供たちがすごく活発になっていろんな学校の子供たちとも積極的に関わってい

こうという、そういう体制が出来た。

更に、小中で連携をした取組っていうのもやっていく中で、中学生の様子を小学生の子供たちが見て、あんなふうになりたいなっていうふうに思ってくれたりするそういう憧れを中学生に対して持ってもらったりというようにところにつながっているとは聞いています。

更に今年美東地域については、水曜日、去年は6年生だけだったんですが、今年は5年生と6年生が午前中、4時間ほど全て集まりますので、英語の授業をやりまますし、それ以外の授業も合同で専科指導を小学校の先生が取り組んでいくということを進めていきますので、さらにそういったところが深まると思ってますし、3校ごとの、連携した取組、当然中学校も含めて、一緒に活動するというのも、もっともっと増やしていくというふうに聞いておりますので、さらに成果が出ていくのかなと思っています。

併せて、小中一貫教育のカリキュラムを、美東中がモデルとしてつくってくれています。各中学校区もこれまでにつくってきたものがありますから、この美東中のモデルをもとにさらに充実したものにしていくことにつながるとなっています。

この取組によって、今までの地域との連携も小学校は小学校で関わっていただく、中学校は中学校で関わっていただくというふうにちょっとバラバラ感があったところが、9年間を通してどう関わっていくのかということで整理が出来て、より充実するということか中身のある学びにつながっていくと思ってますし、地域の方々も、あれも出てこれも出てってなっていたのが少し整理をされて、すっきりした形で、より協力していただきやすい体制につながっていくと思ってます。

このカリキュラムを実践していくというのが今年からになりますので、実践をしながら、改善を加えていくということで、より良いものになっていければと考えているところでございます。

教育次長 八木下 理香子

2点目の出張minetoについて、御意見いただいてありがとうございます。

挑戦のトビラしかやらないというわけではなくて、知のトビラ、好奇心のトビラ全て有りというふうに考えていて、実際担い手はminetoの4人のスタッフというよりかはむしろ、昨日、月曜日に連携協定を結んだSFCがそこを担うような形になります。

今、長谷部先生のほうが、各中学校の校長先生と話をしてしまして、各学校の要望に合わせたものをカスタマイズして何をやっていくのかっていうのを今詰めているような段階になります。

ですので、中学校のほうで知のトビラ的なところで、学生さんなり若い人のサポートが得たいみたいなのところがあれば、そういった形で実施していけたらなというふうに考えているところです。

以上です。

教育長 中本 喜弘

よろしいですか。

はい、ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

山本委員がおっしゃった、知のトビラについては、公設塾のほうからもアプローチがなされるんだよね。

教育次長 八木下 理香子

公設塾minetoについても、やっぱり秋芳地域、美東地域からはなかなか通いづらみたいなお話もいただいている、それは塾のスタッフもみんな課題に感じてます。

なので、オンライン授業みたいなものもどんどん積極的にやっっていこうという事で今話をしています。

説明会の時にも、そういった話をさせていただいてますし、興味がある子はぜひ申し込んでいただいて、やれるところからまずやってみようみたいな形で今年度は進めていきたいというふうに考えております。

教育長 中本 喜弘

連携協力の締結を済ませまして今、2人目の先ほど御紹介した中村さんが5月末までということで、長谷部先生も、大学の授業のほうがありますので、中学校との繋がりをですね中村さんのほうにさせていただくようにしてまして、これから、スケジュールを組みまして、各中学校にですね入ってもらいながら、オンラインで長谷部先生と管理職の校長先生方ともですねやりとりしながら、どんなプログラムを、学校の課題解決のため子供たちの課題の解決のためにするのかっていうのをよく協議した上で、S F Cの研究者それから学生を含めた上でですね、子供たちとのコラボをしながら、そういう課題解決を進めていきたいというふうに、感じているところでございます。

他に何かございますでしょうか。

特にないようですので、教育委員会会議の御出席は刀禰委員さんこれで最後となりますので、一言御挨拶をいただけたらと思います。

よろしく願いいたします。

委員 刀禰 信子

4年間、あっという間に終わったような気がしますし、それから長かったような気がします。

何か、本当正直言ってちょっとほっとしてる気持ちもあるんですけども、今、お話があったように小中一貫校の次も、それから給食センターのこともあ

りますしそれこそ、minetoのこととか、それから部活動とか、本当にこれから大きく変わっていくんだろうなと思います。

その中で私も皆さんの発言とか考えを聞いて、頑張らなくてはいけないというような気持ちで、こういう定例会議に参加させていただきました。

これでやめることになりましたけれども、大切なことを見逃さずにしっかりよく見て考えるというような、そういう気持ちは持ち続けたいなと思います。

大変お世話になりました。

教育長 中本 喜弘

ありがとうございました。

ちょっと寂しい気持ちがいたしますけれども、まだ任期は5月の21日までございますので、引き続きよろしく願いをいたしたいと思います。

ありがとうございます。

それでは事務連絡をお願いいたします。

八木下教育次長。

教育次長 八木下 理香子

今回の教育委員会会議は、5月25日水曜日の14時から、ここ同じ会場の本庁3階の委員会室で開催したいと思っております。

以上です。

<全員了承>

教育長 中本 喜弘

それぞれお忙しいと思いますが万象繰り合わせの上、次回会議御出席のほうよろしく願いをいたします。

長時間にわたり御審議を賜りまして誠にありがとうございました。

以上をもちまして、4月定例教育委員会会議を閉じたいと思います。

大変お疲れさまでした。

ありがとうございます。

(午後3時10分)

令和 年 月 日

教育長

委員

委員

会議録作成